



とくしま 県議会だより

第118号【年4回発行】

令和5年8月6日

編集・発行／徳島県議会

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

TEL.088-621-3010

FAX.088-655-2530

ホームページアドレス

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/>



5月臨時会の概要

令和5年4月9日に執行された徳島県議会議員一般選挙後初の議会となる臨時会が5月18日に招集され、正副議長選挙、各委員会委員の選任、関西広域連合議会議員の選挙などが行われました。

関西広域連合議会議員の選出

関西広域連合議会議員選挙が行われ、次の議員が選ばれました。



おかもと とみじ
岡本 富治
議員



おおつか あきひろ
大塚 明廣
議員



にき よしひと
仁木 啓人
議員

なお、6月24日、大阪市で開催された関西広域連合議会6月臨時会において、正副議長の選挙が行われ、岡本議員が議長に選出されました。

新正副議長紹介

詳しい内容は
こちらから

正副議長選挙が行われ、議長に岡田議員、副議長に須見議員が選ばれました。



第97代議長
岡田 理絵
(おかだ りえ) 57歳
鳴門選挙区
(当選5回)

略歴

副議長、議会運営委員会委員長、総務委員会委員長などを歴任



第108代副議長
須見 一仁
(すみ かずひと) 50歳
徳島選挙区
(当選4回)

略歴

文教厚生委員会委員長、県土整備委員会委員長、監査委員などを歴任



6月定例会の概要 会期 令和5年6月16日～7月6日

県民の安全・安心の確保や徳島の魅力度の最大化を図る補正予算などを可決

開会日には、災害から県民を守る取り組みや物価高・新型コロナへの対応と徳島観光復活を図る6月補正予算などが提案されるとともに、今後の県政に取り組む基本的な考え方や、子どもまんなか社会の実現、教育・医療・福祉・介護の充実、農林水産業対策などの重要施策について知事から所信が述べられました。

さらに、閉会日には、参議院議員補欠選挙費の補正予算や副知事の選任などが追加提案されました。

代表・一般質問では、知事の政治姿勢、県立ホールの見直し、四国新幹線の整備や新規航空路線の誘致等の交通政策、観光ルートの造成や農林水産物の販売拡大等の産業振興施策、介護人材の確保や病児・病後児保育への支援等の福祉施策、そのほか、県総合防災訓練、今後の脱炭素施策の展開、新興・再興感染症への備え、生涯スポーツの推進、SNSを活用した情報発信力の強化、不登校対策への取り組みなどについて論議しました。

今定例会では、「森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書」を議員提出し、可決しました。また、知事提出議案20件を原案どおり可決・同意しました。

6月定例会の主な審議の結果

●可決・同意された議案

○令和5年度補正予算

・一般会計（2件）／補正予算額は134億4,300万円の増額で、補正後の予算は、5,162億2,400万円

・特別会計（3件）

・企業会計（1件）

○条例の改正（8件）

・徳島県の事務処理の特例に関する条例の一部改正

・職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 など

○契約案件（1件）

○人事案件（5件）

●可決された意見書（1件）

・森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

提出議案や各議員の表決態度については県議会ホームページに掲載しています。

徳島県議会 定例会の概要

検索



代表質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

答 知事の答弁 答 関係部局の答弁

大ホール規模縮小、小ホール廃止はやるべきでない



かみひろゆき 嘉見博之 (徳島県議会自由民主党)

問 新しいホールは、県民の夢と希望を生み出す本県の拠点にふさわしい中身を備えるべき。現計画の見直しの方向性と内容を示していただきたい。

答 大ホール1500席、小ホール取りやめは、一つの選択肢。県民の声や議会での議論を踏まえ、スピード、コスト、ホール機能を重視し、新ホールのあるべき姿を判断する。

問 徳島南部自動車道及び阿南芸自動車道「桑野・福井道路」の整備に向けた意欲のほどは。また、国や政府・与党に対し、具体的にどう活動していくのか。

答 徳島南部では新直轄区間で全国最大、桑野・福井でも過去最大の予算が確保され、工事が進んでいるところ。県議会、地元首長、関係団体と共に効果的な要望活動を行い、全線供用に取り組む。

問 四国新幹線について、本県は、これまで紀淡ルートの意義を主張してきたが、県民意見は岡山ルートにあると判断した根拠は。また、県益をどう考えるのか。

答 四国4県が一致でき、紀淡ルートより早期の整備が可能であることや、在来線維持が緊急性を要すること等から、まずは岡山ルートで実現に向けた動きを作り出したい。

公約に掲げられた知事任期を制限する条例の制定は



しんがいひろし 眞貝浩司 (徳島県議会自由民主党)

問 選挙公約に掲げられた知事の任期を3期12年を上限とする条例について、知事が公に宣言し、職を全うすれば目的を達することができると、制定するのか。

答 知事の任期制限が必要であるとの思いに変わりはなく、早期の公約実現に向け、現行の法制度での施行が可能である多選自粛条例を9月定例会に提案できると、検討を進める。

問 海外・国内LCC路線の実現に向け、どの路線をターゲットとし、いつからの就航を目標に、どのような誘致活動を展開していくのか。

答 新たに東南アジアをターゲットとし、まずはタイに誘致活動、プロモーションを強力に展開。国内LCC各社にも積極的なセールスを行い、一日も早い就航に向け、全力で取り組む。

問 水害リスクが上昇し、治水対策が急務となる中、旧吉野川における堤防整備と老朽化が進む工作物の点検・改修について、どのように取り組むのか。

答 国や地元自治体等と緊密に連携し、新喜来の築堤工事や中喜来地区等の用地取得に取り組んでいる。樋門などの工作物は、毎月の変状確認点検と改修により健全性を確保していく。

行政の継続か!? 県政の刷新か!?



にきよしひと 仁木啓人 (新しい県政を創る会)

問 知事は、行政の継続性を重視するような県政運営をしていくのか、はたまた県政刷新をどのようにして、どのようなものを改めていくのか。

答 継続するもしくは継続すべきものはたくさんある。また、教育再生や徳島の魅力発信など刷新すべき課題については、議員や現場の声を反映しながら、刷新していきたい。

問 物価高騰対策として、特に経営環境の厳しい中小・小規模事業者への賃上げに向けた支援が必要不可欠と考えるが、今後どのように取り組むのか。

答 国及び県の生産性向上を図る支援制度のさらなる周知徹底を図るとともに、他県の事例も参考に、賃上げのインセンティブが働くような仕組み等について、調査研究を進める。

問 過去に何度か事故が発生している危険な県道羽ノ浦福井線・長生地区における通学路の安全対策に、今後どのように取り組むのか。

答 安全対策の加速化を図られる国の交付金を活用した事業の着手に向け、まずは通学路交通安全プログラムに基づく、要対策箇所に位置づけられるよう、関係機関と調整を進める。

地方創生戦国時代を勝ち抜く 移住促進の取り組みは



なみこしけんいち 浪越憲一 (グローバルplus)

問 国難とも言える人口減少社会において、本県への移住の機運をさらに高め、地方創生戦国時代を勝ち抜くために、県として、今後どのように移住促進に取り組んでいくのか。

答 本県ならではの移住交流施策を展開し、令和4年度の移住者数、移住相談件数は過去最多。今後も移住実現につながる効果的な施策を展開する。

問 もうかる農林水産業を実現するため、世界の食市場の拡大や、国の輸出促進に向けた方針を捉え、本県農林水産物の輸出をどのように拡大していくのか。

答 県産農林水産物のトップセールスの実施など、それぞれの国・地域における市場の特徴を捉えた戦略的な攻めの売り込みを仕掛け、海外における県産品の定着と販路拡大を推進する。

問 児童虐待の防止には、児童相談所による子育て家庭へのきめ細やかな相談やフォローアップ支援が必要だが、どのように取り組むのか。

答 児童福祉司の増員など体制の強化に加え、市町村と連携し、子育て世帯への継続的な訪問などの支援を充実させ、子どもと家庭が安心できる仕組み作りに取り組む。

一般質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

答 知事の答弁 答 関係部局の答弁

国会議員や市町村長との関係は



もときあきお 元木章生 (徳島県議会自由民主党)

問 本県選出国会議員や県内市町村長との新たな関係をどのように構築していくつもりなのか、その基本的スタンスについて伺いたい。

答 現場の声を県選出国会議員とともに国に届ける。県政運営は市町村重視とし、全ての市町村長と対話を積み重ね、協働して課題に取り組んでいくよう、連携協力関係を構築する。

問 徳島の強みを国内外へ発信し、県民の将来の利益につながるため、大阪・関西万博に向けた取り組みをどのように進めていくのか。

答 今秋、最新技術を活用したパビリオン展示を本番さながらに実証するとともに、徳島への誘客に向けたコンテンツ作り等を、県内や首都圏で展開し、万博効果の最大化を目指す。

問 人材やノウハウ、資金不足といった課題を乗り越え、県内ものづくり企業におけるDXのさらなる推進を図るため、どのように取り組むのか。

答 モデル事業者に対し、DX導入前の業務手順の見直しや環境整備に要する経費の一部を支援する。また、工業技術センターにおいて、効果の見える化とDX加速化の人材育成に取り組む。

本県における今後の脱炭素 施策の取り組みは



おおつかあきひろ 大塚明廣 (徳島県議会自由民主党)

問 脱炭素社会の実現が待ったなしの状況の中、今後の脱炭素施策について、どのように取り組みの幅を広げ、効果的・効率的に展開していくのか。

答 EV購入補助制度の新設や、既存住宅への太陽光発電設備・蓄電池の導入支援等と併せて、脱炭素関連の5つの計画を統合したGX推進計画(仮称)を年度内に策定する。

問 令和4年の出生数が過去最少を更新するなど、少子化問題は国難、待ったなしの状況。本県における少子化対策について、どのように取り組んでいくのか。

答 本年6月にこども家庭庁のカウンターパートとして、こども未来局を創設。新たにこどもみらい基金を設け、市町村や関係機関とも連携し、切れ目のない施策を展開していく。

問 食料安全保障の強化の観点から、本県の基幹産業である農業が将来にわたり持続発展できるよう、経営感覚に優れた担い手の育成・確保を強化すべき。

答 本年4月に開設した徳島県農業経営・就業支援センターにおいて、経営モデルの提案や法人化への誘導など、就農相談から経営発展に係る支援をワンストップで講じていく。

め細やかな対策を講じる。

【答】 交付金等を活用し、LPガス使用料金の減額、福祉施設に対する光熱費高騰分の負担軽減など県独自の支援策を実施。今後も必要な財源確保に努め、きめ細やかな対策を講じる。

【問】 県に追加交付された地方創生臨時交付金を活用し、どのような方針で物価高騰対策予算を計上したのか。また、今後どのように取り組むのか。

【答】 全市町村における医療費助成の対象年齢拡大を踏まえた支援の検討、学校給食費無償化の早期実現を国に提言するなど、子どもを産み育てやすい徳島の実現に向け、全力を傾注する。

【問】 4月に発足したことも家庭庁の方針に呼応し、高校3年生までの医療費助成と学校給食費の無償化や、こども誰でも通園制度の活用に取り組むべきか。

【答】 新たにICTサポートセンターを設置し、専門員がきめ細やかな対応を行う。また、最新機器の体験イベントや講習会の実施等により、デジタル技術の積極的な活用につなげる。



かじわらかずや
梶原一哉
(公明党徳島県議団)

障がいのある方々へのICT
利活用支援体制の早急な構築を

【答】 公文書管理ガイドラインの作成、実施機関に共通するルールを盛り込んだ公文書管理規程の制定に取り組んでおり、まずは公文書の管理体制を構築する。

【問】 公文書等管理条例の運用に当たり、適正な文書管理の徹底及び点検を行うための仕組みをガイドラインに盛り込む必要がある。外部監査のような第三者の視点が必要と考えるがどうか。

【答】 この事業については、可能な限りの調査報告を行っている。現在、裁判が継続中であり、さらなる調査については、裁判所の判断を受けて検討してまいりたい。

【問】 とくしま記念オーケストラ事業を巡る疑惑が残ったまま。刑事確定訴訟記録の点検を含め公約どおり徹底した問題説明は避けて通れないと考えるがどうか。

【答】 算定資料の公開については、現在訴訟係争中であることから答弁は控える。特別交付税の算定は、各町村からの資料や聞き取りを通じて特別の財政需要を把握し、適切に算定している。

【問】 令和3年度特別交付税の算定について、公約どおり速やかに黒塗りを外し公開すべき。今後、誰の目にも公平だと分かる客観的な算定の仕組みを作るべきか。



ふかわあつし
扶川 敦
(護民官)

特別交付税問題について、
算定資料を公開し、早期解決を

6月定例会委員会の概要

常任委員会

●総務委員会

公安委員会関係では「環境配慮型」未来創生交番整備事業について、経営戦略部・監察局関係では知事公舎の使用状況及び今後の対応等について、政策創造部関係ではマイナンバー制度に関するトラブルへの対応について、未来創生文化部関係では新ホール計画の工期の延長や工事費高騰の要因、スポーツアリーナの整備についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●文教厚生委員会

教育委員会関係では子どもたちが主権者として必要な資質・能力を身に付けるための取り組み、教員のメンタルヘルス対策、運動部活動の地域移行、校則の見直し状況について、保健福祉部・病院局関係では糖尿病対策の現状及び今後の取り組み、障がいのある方への歯科治療の充実、新型コロナウイルス感染症対策についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●経済委員会

労働委員会関係では外国人からの労働相談について、農林水産部関係ではターンテーブルがきっかけとなって取引につながった県産食材等の売り上げの状況や今後の取り組み、眉山周辺のイノシシ対策について、商工労働観光部関係では「アニメの聖地とくしま」にぎわい創出事業の概要や情報発信強化の取り組みについてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●県土整備委員会

企業局関係では西長峰工業団地の土地造成事業におけるリース契約区画について、危機管理環境部関係では太陽光発電設備と蓄電池の導入支援など脱炭素の取り組み、徳島ワンヘルス推進事業について、県土整備部関係ではJR牟岐線新駅設置の経緯及び中止に向けた今後の対応、四国新幹線の整備についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

特別委員会

●地方創生対策特別委員会

移住・定住やUターンの促進、外国人の就労支援、県内事業者に対する海外販路開拓支援、DMVの運行状況などについて質疑がありました。そのほか、県産農林水産物の輸送コスト高対策、空き家対策、JR四国との赤字路線の存続に関する協議、大鳴門橋自転車道完成を見据えた今後の取り組み、むつみスタジアムの改修などについて質疑や提言がありました。

●防災・感染症対策特別委員会

新型コロナウイルス感染症対策に関し、感染状況や感染症動向調査の公表内容、県民への注意喚起等について質疑がありました。そのほか、災害時の多様な避難の在り方、災害救助法によるブルーシート支給、防災情報発信の充実強化、防災啓発と消防・防災の担い手育成、南海トラフ巨大地震被害想定に係る避難場所等の整備などについて質疑や提言がありました。

●消費者・環境対策特別委員会

若者の消費生活相談に関し、LINEを活用した「とくしま消費者トラブル相談」などについて質疑がありました。そのほか、エシカル消費の推進に向けた取り組み、電気自動車及び住宅用充放電設備導入促進支援事業、脱炭素関連施策の成果、有機農業等産地拡大加速化事業、野生鳥獣による被害対策、みどりの食料システム戦略などについて質疑や提言がありました。

●次世代育成・少子高齢化対策特別委員会

徳島県産・子育て応援交付金に関し、市町村の実施状況、電子クーポンシステムの構築などについて質疑がありました。そのほか、外国人介護人材マッチング支援事業、保育所等入所待機児童、放課後児童クラブの待機児童、健康ポイントアプリ「テクとく」、こども未来局の体制、高齢者施設のコロナ対策、不適切保育などについて質疑や提言がありました。

用語解説

※1 [LCC]

Low Cost Carrierの略。格安航空会社のこと。

※2 [DX]

Digital Transformationの略。デジタル技術の浸透により、既存の価値観や枠組みを変革していくこと。

※3 [EV]

Electric Vehicleの略。電気自動車のこと。

※4 [GX]

Green Transformationの略。現在の化石燃料を主流とした経済活動をクリーンエネルギーを使用する方式へ移行していくこと。

※5 [DMV]

Dual Mode Vehicleの略。線路と道路の両方を走行できる車両のこと。

徳島県議会議長

(令和5年5月18日現在)

徳島県議会議会派名簿

Table with 3 columns: 議長 (岡田理絵), 副議長 (須見一仁)

徳島県議会議会委員会名簿

常任委員会

Table listing committees: 総務 (井川龍二), 経済 (寺井正邇), 文教厚生 (元木章生), 国土整備 (山西国朗)

議会運営委員会

Table listing members of the Council Administration Committee: 委員長 (井川龍二), 副委員長 (長池文武)

特別委員会

Table listing members of Special Committees: 委員長 (原徹臣), 副委員長 (梶原一哉)

議会トピックス

- 議会改革行動計画について調査し、及び審議するため、徳島県議会議会改革検討会議を設置しました (5月18日)。

大学との包括連携協定事業

- 議事堂1階ホールにおいて、令和5年6月16日から7月31日まで、7月の藍推進月間にちなみ、四国大学における藍をテーマにした事業を紹介するパネルを展示しました。

Table of party members: 徳島県議会自由民主党 (徳島県議会議会派名簿)

とくしま県議会だより「録音版」「点字版」を発行しています

県議会では、目の不自由な方に、県議会の活動をより知っていただくため、とくしま県議会だよりの録音版 (カセット・CD)・点字版を発行しています。

ご希望の方は、次のところへご連絡ください。連絡先/障がい者交流プラザ 視聴覚障がい者支援センター TEL: 088-631-1400

なお、県議会ホームページに、とくしま県議会だよりのPDF版に加え、音声版も掲載していますので、ご利用ください。

議会见学会のご案内

議事堂を見学してみませんか。おおむね5名以上のグループで、地域の学習会や学校の社会見学などにもご活用ください。

TEL: 088-621-3010

見学に来られた方々

- 鳴門教育大学附属小学校 (徳島市)
- 北島北小学校 (北島町)



申込方法等は こちら



議会日程

※日程は予定であり、変更する場合があります。

令和5年9月定例会の日程

- 9月11日 常任委員会
- 9月12,13日 特別委員会
- 9月14日 本会議 (開会)
- 9月21日 本会議 (代表質問)
- 9月22日 本会議 (一般質問)
- 9月26 ~ 29日 ... 常任委員会
- 10月2,3日 特別委員会
- 10月10日 本会議 (閉会)

議会クイズ

正解者の中から抽選で10名様に、「徳島県産あきさかり」(5kg)をプレゼントいたします。

Q

5月18日に、議会改革行動計画について調査し、及び審議するため、徳島県議会〇〇〇〇を設置しました。さて、〇〇〇〇とは次の3つのうちのどれでしょう。

- ①議会運営委員会 ②議会改革検討会議 ③政策条例検討会議

ヒントは紙面上にあります!

- 応募方法: はがき、電子メール、ファクシミリ又は応募フォームでクイズの答え、住所、氏名、電話番号、「とくしま県議会だより」についての感想を記入の上、次の宛先までお送りください。

- 応募先: 〒770-8570 (住所記入不要) 徳島県議会議務局 政策調査課

- 締切: 令和5年9月22日 (金) 消印有効 (当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。)

※お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します。

徳島県産あきさかり (5kg)

稲穂を持つ「すだちくん」が目印! 徳島県の奨励品種のお米で、ほどよい粘りとほのかな甘みが特徴です。



10名様にプレゼント

【提供】全国農業協同組合連合会徳島県本部